

あいち農産物生産流通レポート

2026年3月号

	ページ
◎ マンスリーレポート	
・ 「守口大根の収穫体験と浅漬け作り体験」を実施しました	(園芸農産課) 1
◎ 地域トピックス	
・ エゴマ新品種「No.7」導入によるエゴマ安定生産への取組	(新城設楽農林水産事務所) 2
◎ 東京レポート	
・ 大村知事が首都圏の消費者に本県産農産物を直接PR	(東京事務所) 3
・ 第74回関東東海花の展覧会で本県産花きをPR	(東京事務所) 4
◎ 東京都中央卸売市場における3月の主要な愛知産青果物の動向	(東京事務所) 5
◎ 花 き	
・ 切花・鉢花の3月の見通し(県内市場)	(食育消費流通課) 8

内容についての問合せ先

愛知県農業水産局農政部食育消費流通課

(052)-954-6434

愛知県東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

(03)-5492-5400

「守口大根の収穫体験と浅漬け作り体験」を実施しました

園芸農産課

愛知県は野菜産出額、漬物出荷額ともに全国上位となっています。また、多くの伝統野菜があり、青果だけでなく漬物の原料として利用されている野菜もあります。

そこで本年度は伝統野菜であり、主に漬物として使われる守口大根をテーマに、「守口大根の収穫体験と浅漬け作り体験」を2026年1月17日（土）に扶桑町で開催しました。

1 事業の概要

この取組は農林水産省の「消費・安全対策交付金」の事業メニューである「食文化の保護・継承のための取組支援」を活用し、県民の方に本県産農産物及び漬物への関心を高めていただき消費を促すとともに、漬物を通して伝統的な食文化への理解を深め、その食文化を地域や家庭で受け継いでいただくことを目的として実施しました。

2 事業の内容

㈱扶桑守口食品の職員を講師として、守口大根の収穫体験や守口漬に関する講義、簡単な漬物作り体験など盛りだくさんの内容で実施しました。

(1) 守口大根の収穫体験

親子連れでの参加も多く、地中深くまで伸びる守口大根の長さには驚いていました。また、収穫は大変な労力で、参加者からは、「生産者の大変さを実感した」等の声がありました。収穫した守口大根の長さを競う「長さコンクール」も行い、141 cmの大根を掘った参加者が優勝するなど、盛り上がりました。



守口大根の収穫体験の様子

(2) 守口大根に関する講義

守口大根や漬物に関する講義をクイズを交えながら楽しく行いました。小さな子供からも質問があるなど、和やかな雰囲気の中、守口大根や漬物について学ぶことができました。



講義の様子

(3) 漬物作り体験

講義の後は守口大根を使った浅漬け作りに挑戦しました。大根を包丁で切ったり、調味料を加えたりと、親子で楽しそうに調理をしていました。



浅漬け作りの様子

講習会後に実施したアンケートでは、「守口大根を初めて収穫してその大変さに驚いた」、「伝統野菜と漬物により一層興味が沸いた」等の感想があり、本県産の野菜や漬物の魅力を知っていただく貴重な機会となりました。

県では今後も本県の野菜と漬物を広くPRしていきます。

エゴマ新品种「No. 7」導入によるエゴマ安定生産への取組

新城設楽農林水産事務所

北設楽郡設楽町では、「エゴマ」が古くから栽培されエゴマを使った伝統料理などが食されてきました。

中でも、まるやかで深みのある味わいが特徴のエゴマだれを使った「エゴマだれ五平餅」は「道の駅アグリステーションなぐら」で人気商品となっています。

このエゴマだれ五平餅には、原料として設楽町産のエゴマが使用されていますが、需要に見合うエゴマの生産量の低下が問題となっています。

現在、主に栽培されている在来種の「名倉」は収穫量が多く、食味が良い点が評価されていますが、収穫時期が集中しているため、生産効率の低下や、収穫時期に早霜の被害を受けやすいことから収穫量が減ってしまう点が生産量不足の要因となっています。

この課題を解決するために、県農林水産事務所では、県農業総合試験場（以下、農総試）が開発した収穫時期の早い新品种「No. 7」（以下「No. 7」）を普及させることにより、エゴマを安定生産させる取組を支援しています。

1 農総試開発の新品种「No. 7」について

「No. 7」は、収穫時期が9月下旬で「名倉」より1か月程度早いため、両品種を組み合わせることで収穫時期の分散ができ、栽培面積の拡大が可能であるとともに、早霜を回避することができます。この他にも、草姿がコンパクトで収穫・乾燥作業の負担軽減も期待されます。「No. 7」の開発は、農総試の2024年の10大成果で1位に選出されており、農林水産事務所では、設楽町・農総試と連携し、地域での普及を推進しています。

2 設楽町のエゴマ栽培について

設楽町で約1haのエゴマが栽培されており、うち約60aでは生産者9戸で組織する「設楽町エゴマ研究会」が生産しています。「No. 7」の栽培許諾を受けている設楽町エゴマ研究会では、2024年に種取りを行い、2025年は6戸・26aで「No. 7」が初めて栽培・出荷されました。

3 設楽町エゴマ研究会の活動支援

農林水産事務所では、「No. 7」の栽培指導の他にも、研究会の取組を支援しています。2024年は都市住民を対象としたエゴマ収穫体験イベント、2025年は豊橋ハートセンター院長を講師として、「エゴマで健康になる最新の心臓病治療と健康食」をテーマとした講演会を開催し、エゴマの魅力発信や理解促進を図っています。



エゴマの栽培状況

4 今後の取組

設楽町の農業者に対してエゴマ栽培の普及を図るとともに、設楽町エゴマ研究会への加入を働きかけていきます。また、これらの取組支援によって、耕作放棄地の発生抑制、地域の活性化につなげていきたいと考えています。

大村知事が首都圏の消費者に本県産農産物を直接PR

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

愛知県農産物需要拡大推進協議会（構成：愛知県、JAあいち経済連）主催の「あいちの農産物トップセールス」が2026年2月7日（土）にライフ大崎ニューシティ店（東京都品川区大崎1丁目）前のイベント広場で開催されました。

本イベントは、本県産農産物の約3割が出荷されている首都圏において、これらの一層の知名度向上と需要拡大を目的として毎年開催されています。大村知事が直接、首都圏の消費者に向けてPRを行っており、今年で18回目の開催となりました。

1 大村知事らが本県産農産物の魅力をPR

トップセールスでは、大村知事が「愛知は中部地区最大の農業県です。今の時期に東京のスーパーに並ぶキャベツは愛知が全国一の生産額を誇ります。他にも、トマト、いちご、おおばなど全国に自慢できる野菜や果物がたくさんあります。ぜひともお買い求めいただき、ご家族やご友人に美味しさや魅力をお伝えください。」とPRしました。また、JAあいち経済連経営管理委員会の平野会長からも生産地のPRが行われ、本県産農産物の魅力を来場者に強く印象づけました。

その後、来場者100名を対象に「お楽しみ抽選会」を実施し、特賞として5名に本県産農産物詰合せ（キャベツ、トマト、いちごなど）を、参加賞として95名に本県のブランドいちご「愛きらり®」の2個入りパックを配付しました。会場には親子連れが多く、とても盛り上がっていました。



大村知事が消費者に直接PR



参加賞を子供に手渡す大村知事

2 盛りだくさんのイベントも実施

トップセールスの他にも多くのイベントを実施し、本県の魅力をPRしました。

- ・「PRINCESS SAMURAI of JAPAN あいち戦国姫隊」による演舞と写真撮影会
- ・来場者による本県産ミニトマト4種類の食べ比べと人気投票（151名参加、1位「Azuki」61票、2位「レギュラー」56票、3位「アイコ」20票、4位「クレア」14票）
- ・ライフ大崎ニューシティ店内に特設売場を設置し、キャベツ、トマト、ふき、おおばなど23品目を販売
- ・デジタルサイネージでPR動画を放映（知事メッセージ、本県農業PR、キャベツPR、「愛きらり®」PR）



あいち戦国姫隊による演舞



ミニトマト4種類の食べ比べ



本県産農産物の特設売り場

今回のトップセールスに合わせて、2月7日（土）と8日（日）の2日間、株式会社ライフコーポレーションの首都圏全140店でも「愛知フェア」を実施し、販促活動に取り組みました。今後もこのような取組を通じて、本県産農産物を多くの首都圏の消費者に知ってもらい、知名度向上と需要拡大を図っていきます。

第74回関東東海花の展覧会で本県産花きをPR

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

2026年1月30日（金）から2月1日（日）にかけて、サンシャインシティ文化会館（東京都豊島区東池袋）で「第74回関東東海花の展覧会」（主催：本県含む1都11県、一般社団法人日本花き生産協会など花き関係5団体）が開催されました。

1 概要

本展覧会は、花に対する理解促進と消費拡大を図り、花き産業の健全な発展に寄与することを目的とした日本最大規模の花の展覧会です。開催前日の29日（木）には花の品評会とフラワーデザインコンテストが行われました。また、30日（金）には開場式で、主催県である栃木県の福田知事が「本展覧会を通じて多くの人々の花に対する関心を高め、花のある暮らしの輪がさらに大きく広がることを期待しています。」と挨拶しました。会期中は、栃木県による花の装飾展示や品評会出品物の展示、産地紹介コーナーなどが一般公開され、多くの来場者でにぎわいました。

2 品評会審査結果

品評会では、本県を含む1都11県の生産者から切り花や鉢物など合計1,450点が出品されました。本県からは179点が出品され、68点が受賞しました。その内、農林水産大臣賞や農林水産省農政局長賞などの特別賞は22点でした。会場では、カーネーションや、きくなど各部門に分けて展示され、特別賞を集めた展示コーナーも設置されました。



輪ぎく アルストロメリア カラテア
農林水産大臣賞を受賞した本県出品物

フラワーデザインコンテストでは76点が出品され、本県からの作品1点がブライダルブーケ部門で特別賞を受賞しました。

3 産地紹介コーナーにおける本県の展示

本県は生産量日本一を誇る洋らんをテーマに、大小様々なコショウラン、カトレア、シンビジウム、デンドロビウムを展示しました。また、展示台にモニターを設置して愛知県花き温室園芸組合洋らん部会が作成したPR動画を放映し、洋らの魅力や栽培の様子を紹介しました。

首都圏の一般来場者の目に触れる本展覧会は、多くの出品物や産地紹介コーナーを通じて、本県の花きの魅力を伝える機会になっていました。



洋らんを紹介(愛知)

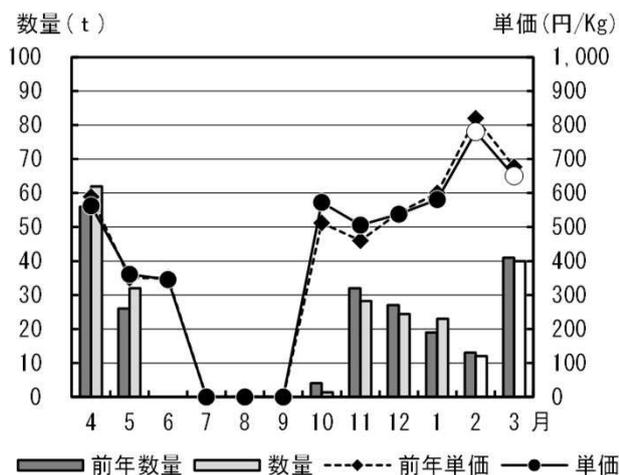
東京都中央卸売市場における3月の主要な愛知産青果物の動向

1 3月の見通し

品目名 ふき

区分 実績等		入荷量 (t)	卸売価格 (円/kg)	前年上位3産地(%)	市場からの提言等
実績	2021年	113	374	愛知 99%	作付面積や入荷量が減少し続けると、量販店の売場面積の確保が厳しくなってしまうので、前年並の入荷量が確保できるようにお願いしたい。また、3～4月の最需期に数量を増やすための出荷体系の検討をお願いしたい。
	2022年	58	514		
	2023年	62	489		
	2024年	47	576		
	2025年	42	681		
5ヵ年平均		64	527		
2026年見通し		40	650		

愛知産の動き



産地概況

本県産は、夏季高温の影響で生育が遅れ気味であるため、入荷量は上中旬に増えてくるものの、例年よりペースは遅いと思込まれる。数量は、面積減少と夏期高温の影響により前年よりやや減少する見込み。

2 入荷量・価格の動き

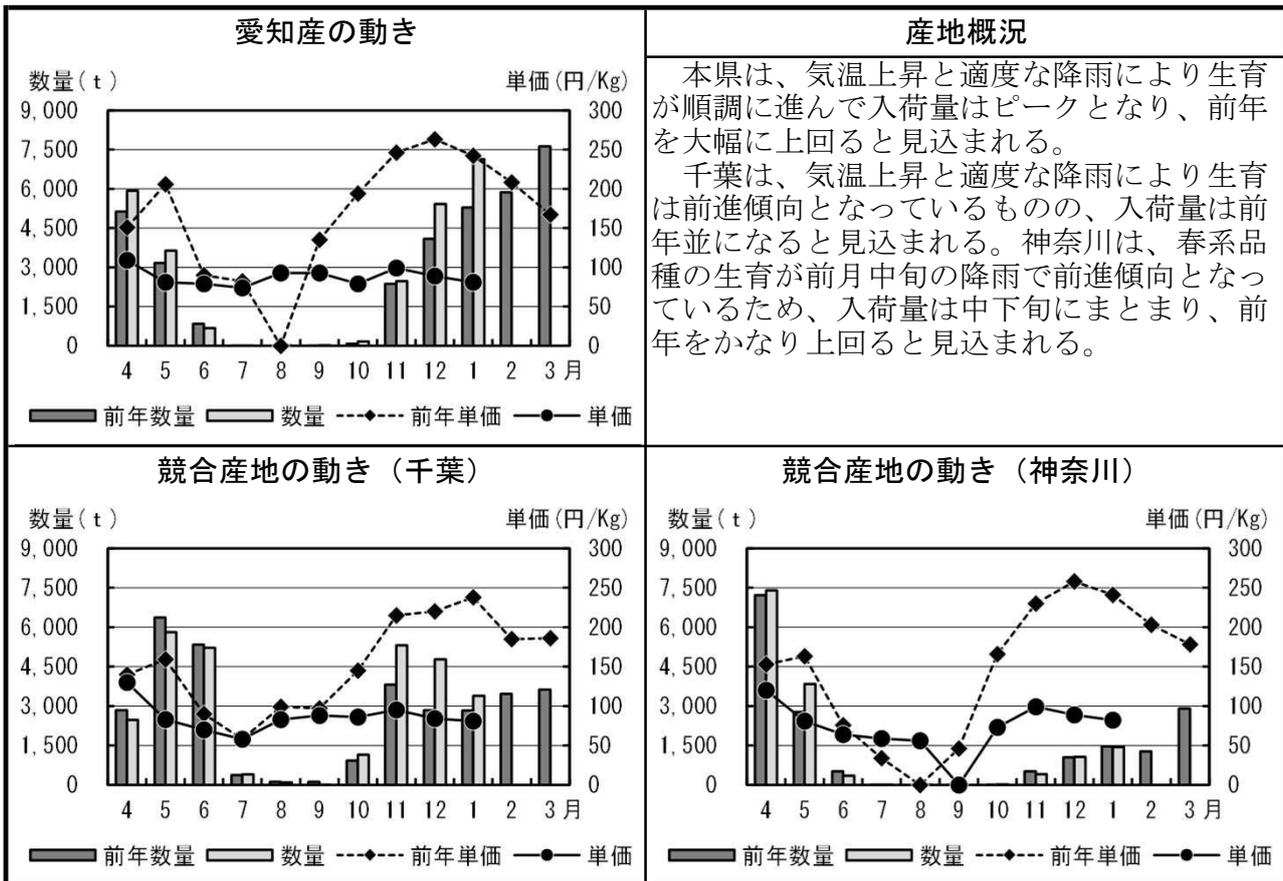
品目名 キャベツ

前年上位3産地 (%)

愛知 52%

千葉 25%

神奈川 20%



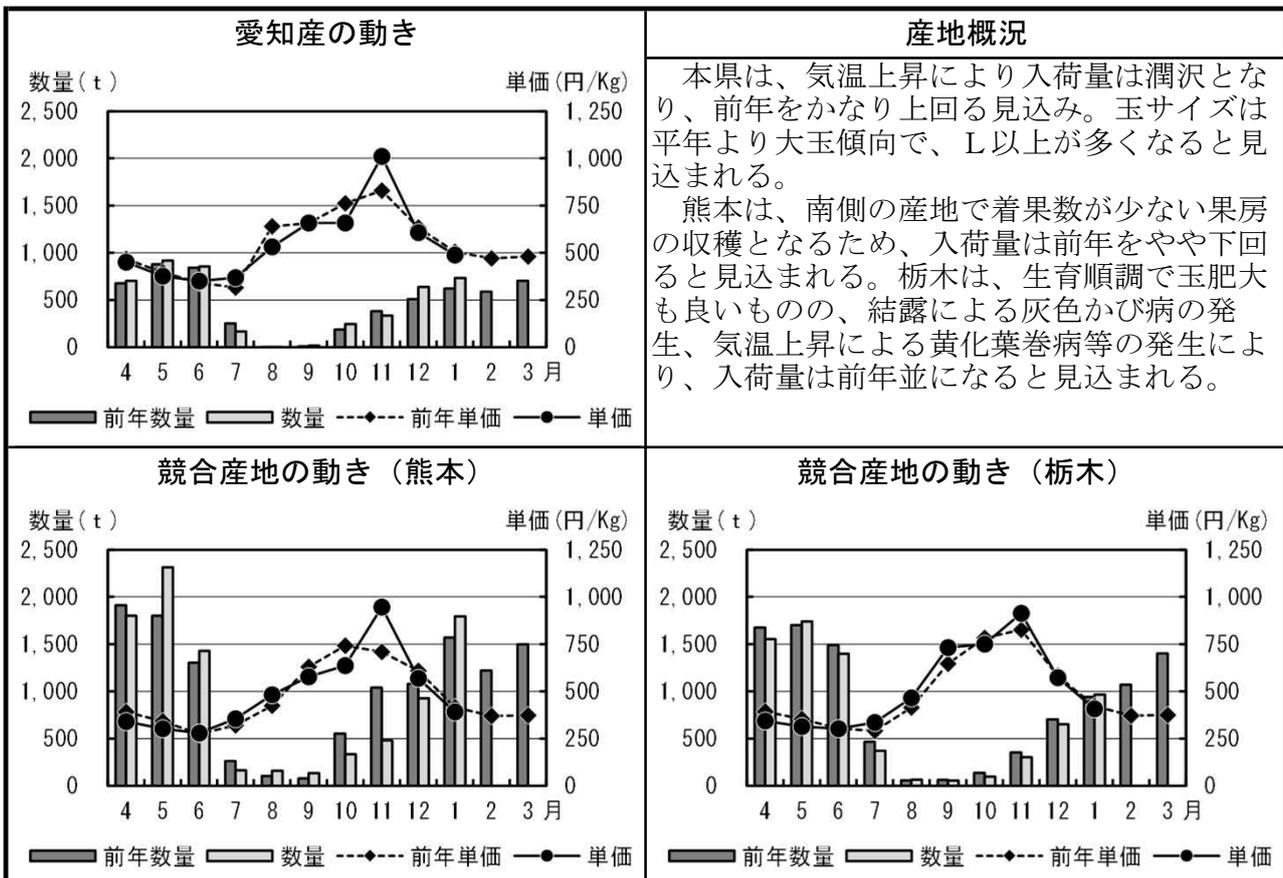
品目名 トマト

前年上位3産地 (%)

熊本 29%

栃木 27%

愛知 14%



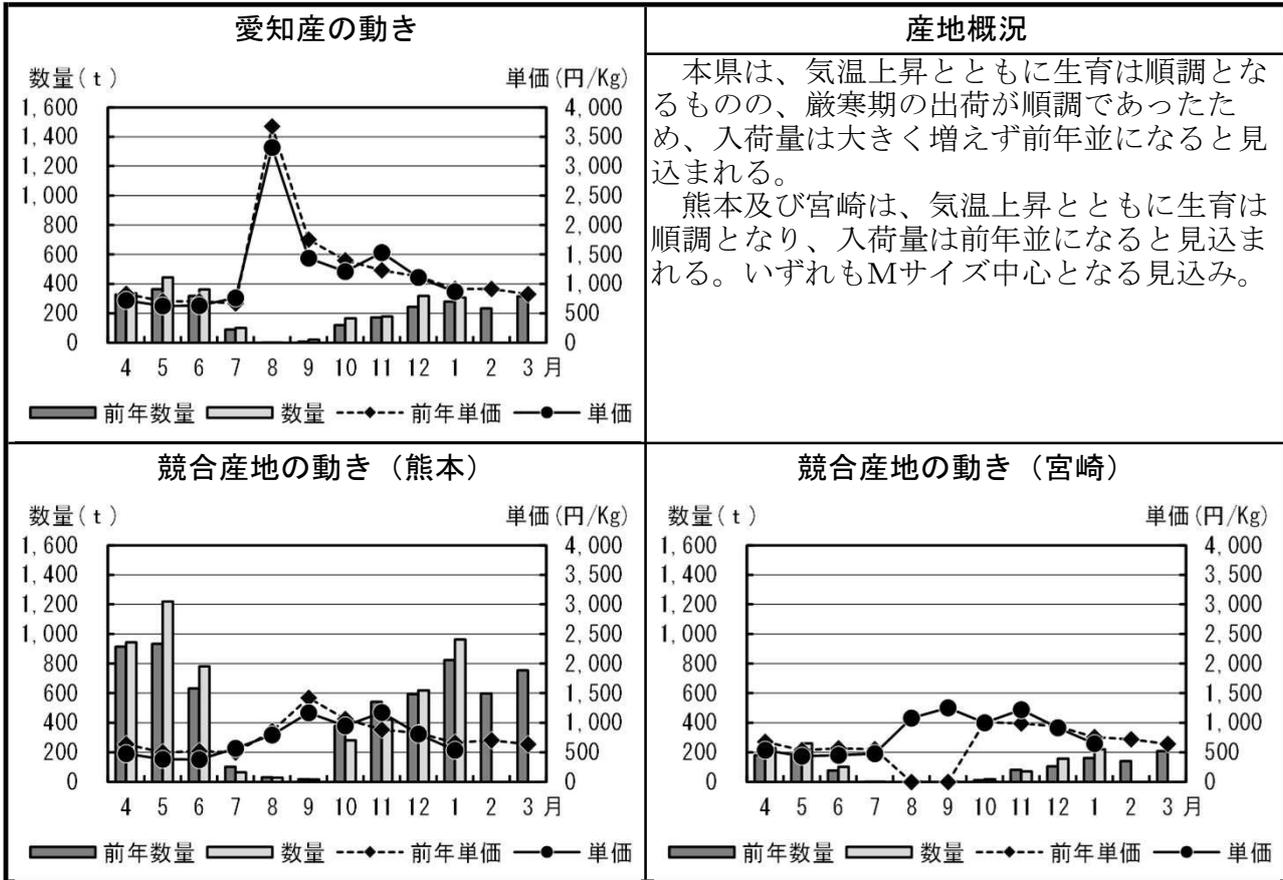
品目名 ミニトマト

前年上位3産地 (%)

熊本 43%

愛知 18%

宮崎 12%



産地概況

本県は、気温上昇とともに生育は順調となるものの、厳寒期の出荷が順調であったため、入荷量は大きく増えず前年並になると見込まれる。

熊本及び宮崎は、気温上昇とともに生育は順調となり、入荷量は前年並になると見込まれる。いずれもMサイズ中心となる見込み。

切花・鉢花の3月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 3月2日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	2021年	1,661	60	
		2022年	1,456	63	
		2023年	1,489	67	
		2024年	1,421	59	
		2025年	1,481	49	
	5カ年平均		1,502	59	
	2026年見通し		1,500	50	
概要	愛知、三重、沖縄からの入荷となる。中旬以降は彼岸需要もあり、M,S規格を中心に引き合いも強まる見込み。上位等級は業務需要の動きで価格変動が大きくなる見込み。				
小 ぎ	実績	2021年	1,854	37	
		2022年	1,854	37	
		2023年	1,488	41	
		2024年	1,330	31	
		2025年	1,042	37	
	5カ年平均		1,514	37	
	2026年見通し		1,100	37	
概要	沖縄中心の入荷となる。3月を通して生産状況は減少傾向となる。中旬頃からは彼岸需要が高まるため、引き合いが強まる見込み。				
カー ネ ー シ ョ ン	実績	2021年	1,295	52	
		2022年	1,173	59	
		2023年	1,295	52	
		2024年	1,087	65	
		2025年	1,378	47	
	5カ年平均		1,246	54	
	2026年見通し		1,250	50	
概要	愛知、輸入中心の入荷となる。国産は2月後半から出荷量が増加しており、前半もピンク中心に例年以上の出荷となる可能性がある。一方、輸入は入荷量が7割ほどとなる見込み。2週以降は、春彼岸及び歓送迎会に向けた需要が期待される。				
か す み そ う	実績	2021年	216	93	
		2022年	180	119	
		2023年	216	93	
		2024年	196	116	
		2025年	210	101	
	5カ年平均		204	104	
	2026年見通し		220	100	
概要	和歌山、高知、熊本からの入荷となる。2月下旬から気温が高く推移したため、3月上旬は出荷量が増加する見込み。				

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆ り	実績	2021年	269	188	
		2022年	242	190	
		2023年	269	188	
		2024年	226	216	
		2025年	227	192	
	5カ年平均		247	194	
	2026年見通し		230	200	
概要	<p>オリエンタルユリは高知、宮崎、埼玉、愛知からの入荷となる。作付面積自体が多くないため、動きの少ない入荷となる見込み。鉄砲ユリ及びLAユリは、いずれもやや少ない入荷が見込まれる。</p>				
洋 ら ん	実績	2021年	425	75	
		2022年	337	108	
		2023年	332	118	
		2024年	337	111	
		2025年	315	121	
	5カ年平均		349	105	
	2026年見通し		320	120	
概要	<p>コショウランは微増し、国内産地からの入荷が増えてくる見込み。カトリアは気温の上昇に伴い、増加傾向にある。デンファレはソニア中心に増加し、オンシジウムも上位等級が増加すると見込まれる。シンビジウムは国産中心に入荷する予定。</p>				
ば ら	実績	2021年	748	107	
		2022年	782	114	
		2023年	748	108	
		2024年	719	129	
		2025年	770	99	
	5カ年平均		753	111	
	2026年見通し		750	110	
概要	<p>愛知、岐阜、三重、輸入中心の入荷となる。2月中旬以降の気温上昇により、国産は前半に出荷ピークを迎える品種もみられる。輸入は依然として前年の7～8割の入荷見込み。全体としては、前年並の入荷が予想される。</p>				
枝 も の	実績	2021年	1,509	64	
		2022年	1,441	67	
		2023年	1,547	65	
		2024年	1,440	67	
		2025年	1,339	65	
	5カ年平均		1,455	66	
	2026年見通し		1,400	65	
概要	<p>ミモザ、アカシアについては前進傾向で、気温によっては出荷が終了してしまう可能性があることから、国際デー(ミモザの日)に向けた入荷は少ない年となる見込み。桜やコデマリなどは例年どおりの出荷はあり、卒業式需要には対応できる見込み。全体的に花木類は前進しているため、4月上旬は少なくなる可能性がある。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
カララ	実績	2021年	4, 3 7 5	4 2 0	
		2022年	5, 6 9 3	5 0 6	
		2023年	7, 8 6 9	5 1 1	
		2024年	3, 3 1 7	5 9 6	
		2025年	5, 0 3 1	5 7 8	
	5ヵ年平均	5, 2 5 7	5 1 8		
	2026年見通し	5, 0 0 0	5 8 0		
	概要	<p>入荷量は前年並と見込まれる。作付量は前年と大きな差がないため、横ばいで推移する見通しである。生産割合は5号から4号へ多少のシフトが見られるものの、相場への影響は限定的と予想される。</p> <p>前年3月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位埼玉（79.2%）、2位長野（19.2%）、3位愛知（0.7%）となっている。</p>			
ファレノ	実績	2021年	2 8, 6 8 4	3, 8 7 2	
		2022年	2 8, 8 3 3	4, 2 3 6	
		2023年	3 5, 6 1 1	3, 9 7 1	
		2024年	3 0, 9 8 6	3, 5 1 4	
		2025年	3 2, 5 0 7	3, 6 1 9	
	5ヵ年平均	3 1, 3 2 4	3, 8 3 8		
	2026年見通し	3 2, 0 0 0	3, 6 0 0		
	概要	<p>入荷量は前年並と見込まれる。生産量についても、大輪・ミディともに需要期に向けて前年並の見通しである。一方で、ミニタイプはやや減少する予測となっている。単価については、全体として前年並で推移する見込みである。</p> <p>前年3月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（55.9%）、2位千葉（9.4%）、3位静岡（5.4%）となっている。</p>			
バラ	実績	2021年	6 9, 4 5 9	1 9 7	
		2022年	5 4, 7 9 1	2 0 6	
		2023年	6 4, 6 0 5	2 1 7	
		2024年	4 6, 6 2 8	2 2 6	
		2025年	5 1, 0 8 2	2 2 5	
	5ヵ年平均	5 7, 2 5 8	2 0 4		
	2026年見通し	5 1, 0 0 0	2 2 5		
	概要	<p>入荷量は前年並と見込まれる。小鉢の3～4号が中心の出荷となり、5号以上については4月以降の入荷が多くなる見通しである。各種イベントにより需要が高まることが見込まれるほか、3月は例年より気温が高い予報となっており、出荷が早まる可能性がある。価格については、前年秋以降の供給量減少により高値が続いており、この傾向のまま、例年よりもやや高値で推移する見込みである。</p> <p>前年3月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（61.8%）、2位岐阜（31.5%）、3位愛媛（4.7%）となっている。</p>			

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
サイネリア	実績	2021年	56,677	273	
		2022年	48,244	264	
		2023年	57,696	279	
		2024年	47,571	314	
		2025年	49,643	308	
	5ヵ年平均	51,966	287		
2026年見通し	50,000	310			
概要	<p>入荷量は前年並と見込まれる。一部産地では生育の遅れが見られ、装飾需要に合わせた3月初旬から中旬の出荷については、4号～5号が品薄となる見通し。経理面の事情から産地の設定価格が値上げされていることもあり、価格は例年より底堅く推移するものと見込まれる。</p> <p>前年3月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（22.2%）、2位香川（17.6%）、3位埼玉（14.4%）となっている。</p>				
マーガレット	実績	2021年	95,082	220	
		2022年	89,058	217	
		2023年	88,825	206	
		2024年	66,288	217	
		2025年	74,032	203	
	5ヵ年平均	82,657	213		
2026年見通し	74,000	203			
概要	<p>入荷量は前年並と見込まれる。生産は小鉢が微減となり、6号など大きいサイズは前年よりも減少する見込み。価格が不安定になりやすいサイズから生産が減少する傾向はやむを得ない面があるが、結果として相場の安定につながることを期待される。当月は装飾などの需要が高まる時期であることから、4～5号サイズの引き合いが強くなる見込み。</p> <p>前年3月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位埼玉（30.2%）、2位静岡（20.2%）、3位岐阜（12.8%）となっている。</p>				
デンドロビウム	実績	2021年	16,362	643	
		2022年	14,459	661	
		2023年	13,613	709	
		2024年	12,353	684	
		2025年	13,808	629	
	5ヵ年平均	14,119	664		
2026年見通し	13,500	630			
概要	<p>入荷量は前年より減少する見込み。出荷規格は4～6号が中心となり、全体として減少傾向となる見込み。2月は気温こそ低いものの、日照量が多い場合には開花が進むため、入荷自体は順調となる見込み。ただし、2月から続く販売不振が解消されていない場合には、相場は引き続き厳しい展開となる可能性がある。</p> <p>前年3月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（47.1%）、2位岡山（20.4%）、3位高知（17.5%）となっている。</p>				



いいともあいち運動って知ってる??

- 県内の消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

＝もっと愛知県産品を食べよう（利用しよう）

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えているという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート No.631
2026年3月発行
農業水産局農政部食育消費流通課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6434